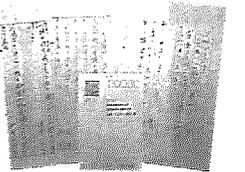


街かど



今月の投稿

- 募集しています
 - ・短歌・俳句
 - ・詩・随筆
 - ・イラスト・写真
 - ・マンガ・その他
- 町への意見や要望も受け付けます
- 匿名でもよいですが連絡先を忘れずに
- 投稿・連絡先は

黒崎町大野2843-1
 広報「街かど」係
 ☎377-3101
 (内線335)

短歌

黒崎短歌会

積年の想い叶いて歌碑の道短歌に酔いしれ緑にも酔う
 笠原セツ
 水稲の枝秀飛び交う四十雀小きき二羽の羽条清しき
 泉井ヨ子
 人あなき浜辺に残る廢屋の羽目板朽ちて空すきて見ゆ
 竹中千代子
 畑すみに錆し農機のライトの目永き労苦を見守り来し目か
 阿部浄子
 六才の孫の記念樹みかんの花が真白く咲けば唱歌口ずさむ
 大矢キイ
 山脈に朝日ののぼる時の間を暮ひくごとく霧たちわたる
 永田キヨエ
 職退けば企画抗う刻もなく今はひたすら痛む人を訪う
 丸山幸

俳句

黒崎俳句会

山一つ句碑立ちならぶ峠道詩人の声を聞く思ひする
 大谷モト
 初夏の風越の平野は朝夕にゆれる緑の優しさ伝う
 長谷川トリ
 花は散り又花咲きて五月晴都忘れは楚々と咲きつぐ
 小出美喜子
 大いなる心を持ってと吹く風の若葉を揺らす夕暮の路
 柴垣きみ
 亡夫の見ぬ内孫三人加わりて十三回忌一日にぎわう
 金内セツ
 早起きの吾より早く沙羅咲けり
 耕政(講師)
 新緑の空の香にふれ遊歩かな
 きよえ
 昨日よりけふのむらさき杜若
 けんじ
 蒲公英の絮吹き飛ばすおちよほ口
 清一
 思ひ出を梅雨に深めて能登めぐり
 多佳
 短夜や棚に常備の薬用酒
 智恵子
 サークスの赤きテントや夏の雲
 富代
 あはあはとけむりて雨の花穂
 トシ子
 武蔵野の雑木林や獨歩の忌
 敏郎
 青桐の葉濡れ日水にこぼしけり
 秀子
 さみだれに濡れて馬車来る威の街
 文雄
 紫陽花や雨ともなれば雨の色
 みよし
 ふと匂ふにせあかしやの下通る
 みどり
 緑蔭は和讃のごとき風のあり
 代香
 登りくる妻を待ちあまる若葉道
 義男

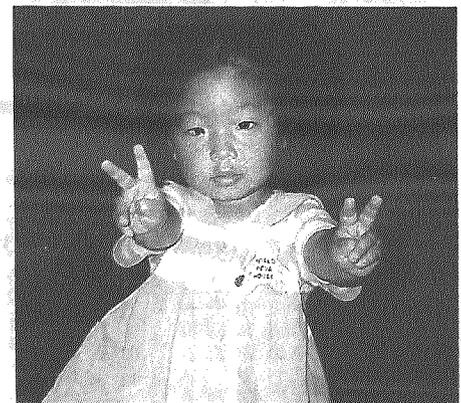
なにごともなく父の日の暮れにけり
 律子
 瀧音にしぶきに風の生れけり
 一翠
 出雲路の旅の終りの明易し
 玲子
 大き目の傘を買ふ孫梅雨に入る
 きい
 コトコトとジャムを煮る音走り
 信子
 梅雨
 穴一つ虫に空けられ初茄子
 洋子
 朝顔の蔓細々とひよろひよろと
 成子
 走り根の太き末社の大夏木
 友佳
 雨蛙この数百の小さきや
 舞子
 紫蘇市といふ梅のよく匂ふ市
 水仙

大いなる岩押し出し梅雨出水
 飛浪
 風傷み鳥いたみして枇杷熟る
 素明
 軒下の紫陽花咲きて雨を待つ
 鈴木ハツ
 十葉の四枝の花弁珍らしや
 小林ミサヲ
 熟す蟬婆近寄りてジジと逃げ
 鹿島トイ
 のはずに歩道に伸び出づ生垣のしたたる梅雨に身を振りゆく
 小林信
 年重ね長くとは言はぬ最後まで念じてやまづ健康であれと
 小林くに



わが家の愛ドル

1歳以上、3歳以下のお子さんを紹介するコーナーです。掲載を希望される方は、写真と氏名(フリガナも)・生年月日・性別・ご両親の名前・住所(自治会名も)・電話番号・コメント(50字程度)を添えて企画商工課広報統計係へ。



ブランコもあべい台も、そして、おままごともどーいあき。あっかい小麦色のおてんは娘です。
森田 佳奈 ちゃん
 H7. 2. 2生
 父 正美
 母 あけみ
 (寺地団地)

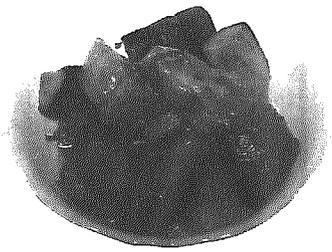
食

郷土料理

一食生活改善推進委員会一

なすとトマトのマリネ

夏野菜で元気を取り戻そう。



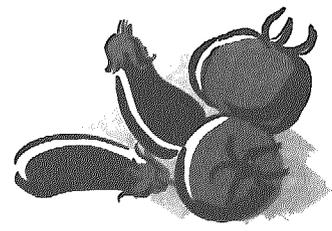
●エネルギー 138kcal
 ●塩分 0.5g

材料 4人分

- なす.....5個
- トマト.....2個
- 青しそ.....8枚
- サラダ油.....大さじ5
- 酢.....大さじ2 1/2
- 塩.....小さじ1/2
- A { しょう.....少々
- さとう.....少々

作り方

- ① なすはへたを除き、縦4つ割にして2〜3センチ幅に切る。
- ② トマトはへたをくりぬき、皮を湯むきにし、1口大に切る。青しそはせん切りする。
- ③ フライパンに油を熱してなすを加え、5〜6分しんなりとなるまでいためる。Aを順に加え混ぜ、ボールにあげてきます。トマトと青しそを加え混ぜて冷蔵庫で冷やす。



寿魚信

初心者ですので100点満点
 善久中 小林精二

入会希望者は社会教育課へ
 ☎377-3101 内線223

第50号

六月二十三日、黒崎町公民館講堂に於いて、午前と午後二回にわたり学習講座が行われました。午前はフォークダンス教室で、講師は新田美映子先生。午後には歌謡教室で、いつもお出になる古市玲子先生でありました。受講者二十五名位で、全員講義に取り組み有益でありました。

フォークダンス講座
 先生は、私は当年六十歳であるが、いつも若い気分です。自分の年に〇七をかけた位の心構え、皆さんもおつもりで願いますと講座を始められました。

実習のフォークダンスの演奏は、ドレミの歌(アメリカカ)、初恋よろしく(日本、森田子の歌)、黄色いリボン(アメリカ)の三曲で音楽に合わせ踊ります。踊りその一、全員一列となつて手をつなぎ会場いっぱいになり広がります。行進は、左より八歩前進、四歩行進、四歩すり足にして輪を広げ、また輪を締めたりして氣勢を発します。踊りその二、二人一組として横に並び、二回転をして自分の手を鳴らし、男性側の一人が隣の席の人と交代、これを繰り返します。

講評 瞬発力としての行動が揃わず、リズム感として音楽に合わない点はあるが、初心者ですので百点満点をあげます。

歌謡講座
 練習曲「女酒」の三番まで行いました。先生が、音楽に合わせ何回も歌われ、次は全員合同、次いで半数づつ、更に一人でステージに上りマイクで歌う。初めから終わりまで、先生は歌いつ放し、二時間の長時間、一回の休憩もなく熱演されました。

講評 一週間もかかるものを二時間で覚えることは大変です。自分の歌として毎日やるのが大切です。音声を上げるとのどを痛め声が出なくなりますが、よく頑張りました。以上二つとも素晴らしい講座でありました。